

## 第17回 ケーブルテレビ足立放送番組委員会 議事録

【開催日時】 2012年3月12日(月)午前11時～午後1時30分

【場 所】 JCN足立 6階大会議室

【出席者】 放送番組審議委員会:7名

会長 木村 寛治 (日本工業大学名誉教授)  
副会長 藤岡 明房 (立正大学経済学部教授)  
委員 大野 順子 (デザイナー/あだち女性異業種交流会風大地会長)  
高関 健 (札幌交響楽団正指揮者)  
田中 武夫 (足立区商店街振興組合連合会理事長)  
吉田 厚子 (足立区役所 広報室報道広報課 広報課長)  
石鍋 敏夫 (足立区役所 広報室報道広報課 広報係長)

放送番組審議会事務局:5名

松島 純一 (JCN足立 代表取締役社長)  
吉原 新一 (JCN足立 技術・放送部 部長)  
折田 康男 (JCN足立 技術・放送部 放送制作担当課長)  
高野 由理 (JCN足立 技術・放送部 放送制作担当課長代理)  
宮山 透 (JCN足立 技術・放送部 放送制作担当課長代理)

オブザーバー:1名

福田 洋一 (ジャパンケーブルネット メディア事業本部 コミュニティコンテンツ運用部 担当部長)

### 【議事内容】

#### 1. 開会の辞 (松島純一 代表取締役社長)

社長就任の挨拶および、JCN放送サービスの現状と方針、地域とのつながりの重要性について説明した。

#### 2. 委員・出席者ご紹介

#### 3. 会長挨拶

ご自身に関わる「こども110番」や「開かれた学校づくり」の取組みについての説明および、ケーブルテレビの地域への役割について。

#### 4. 説明・審議

##### 1) 第16回番組審議会で頂いたご提言に対する取組みについて

事務局(折田)から、去年の放送番組審議会でのご提言(①～⑤)に対する取組みについて報告を受け、同事案が承認された。

個々の事案についての報告は以下の通り。

①『トピためっ！』プレゼント応募データの分類項目に職業を加えてはどうか？

事務局 応募要項に「職業」項目を明記し収集を行ったが、約 1/3 のデータに職種の記入がなかった。また今年度のデータから職業別を追加し、比較を行った。

②女性の視聴が多い昼間の時間帯に番組を充実させてはどうか？

事務局 同時時間帯については、コミチャンの収入源であるテレビショッピング供給会社も、女性視聴者層へのアピールが高い枠として認識しているため、収入源確保を優先した。

③足立区は子どもの教育に関心が高いので、齋藤前教育長の出演を検討してはどうか？

事務局 2011年9月に「慶子の時間」のスタジオゲストとして御出演頂き、4年間の思いを話して頂いた。

④足立区のイメージアップを目的とした番組を制作して欲しい。

事務局 複数のニュースと企画コンテンツを組み合わせたコンプレックス形式の足立区広報番組「みてみてあだち」を制作した。

特に、足立区のイメージアップを目的とした取組みとして、足立区出身の芸能人が出演し、足立区の良さを語る内容とした。

⑤区議会・区長選挙放送については公正・忠実に行って欲しい。

事務局 今回の「足立区区議会議員・足立区長選挙開票情報番組」では、「有権者の声」「立候補者のビジョン」「当選者の生の声」を軸に、“足立の未来”について視聴者に考えて頂きたい、をコンセプトに番組を制作し、“公平・忠実”な選挙中継を実現できた。

#### <その他、質疑応答>

藤岡 昨年の東日本大震災後、地元情報を求める為にケーブルテレビを見る機会が増えたのでは？

事務局 データとしては調べてはいないが区民からの多くの意見を踏まえ、今年から足立区と連携し、緊急放送を実行する体制を構築した。今後は、文字テロップなどのハード面を整備し、JCN足立のコミチャンでも震災時に情報が受け取れるチャンネルだと認識して頂けるように進めていく。

吉田 区民から多くの意見があったということは、要望があったということである。

松島 JCNグループ局では、震災時にコミチャンの視聴率が上がっていた。

JCN太田局の災害情報番組は、日本ケーブルテレビ連盟より賞を受けた。

事務局 今回必要と感じたのは、計画停電の情報である。足立区や東京電力のホームページを

見られない人からの問い合わせが非常に多かった。地域情報を放送しているものとして自覚を改めて促されるものと感じた。

木村 昨年3月11日の避難場所について足立区と各町会との連絡体制がスムーズではなかった。

今後は、足立区とJCN足立が連携をとって災害時に必要な情報を発信してほしい。

吉田 今年からJCN足立に、FAX付防災無線を設置することになったので、電話が不通の場合でも連絡を取り合う事ができるようになった。

## 2) 2011年度自主制作番組放送実績について

事務局(折田)から報告を受け、「2011年度自主制作番組放送実績」についての事案が承認された。

## 3) フリーディスカッション

テーマ「コミチャン番組が、より地域に貢献するためには、どのような情報が必要ですか？」

藤岡 足立区は大学の数が増え始めてきた。特に多い理科系の大学の学生を対象にした番組を提供したらどうか？

大野 足立区の給食や食育をもっとPRした番組を制作したらどうか？

事務局 今年10月からデータ放送を開始するが、他局では「今日の学校給食」を紹介していた。

木村 学校の良いところを保護者に調査したところ、給食が1番だった。

食を通して、親子のふれあいができるような番組を制作して欲しい。

吉田 今年、区制80周年ということもあり、「足立区のこれまでの歴史」などをJCN足立と連携して紹介していきたい。また、来年は国体も行われるので番組協力を行っていきたい。

木村 足立区の過去の災害の記録を区民に知ってもらうことが大事ではないか。

事務局 一般の方へのインタビューの際に、マイクを向けられると躊躇してしまう方が多い。

良い対処法はあるか？

吉田 インタビュー取材は、インタビューアーの力量で答える内容が全然違う。

高関 相手から本音を聞き出したいと思うならば、じっくり時間をかけて取材をする方が良いと思う。

高関 足立区は、小・中学校のブラスバンド部が非常に盛んなので、是非取り上げて欲しい。

## 5. 次期会長、副会長の選任

会長・副会長の選出については、会長に木村委員、副会長に藤岡委員の選任が事務局案として提案され、全委員より承認された。

## 6. 閉会の辞 (福田洋一 ジャパンケーブルネット メディア事業本部 コミュニティコンテンツ運用部 担当部長)

データ放送で防災無線の内容を文字化して放送できる試みなどについて説明した。

以上